

デジタルツール等を活用した災害時給水ステーション（給水拠点）の情報発信を行い、認知度向上につなげたい！

課題



- 東京都水道局では、都内に200か所以上、概ね半径2kmの距離に災害時給水ステーション（給水拠点）を設置している
【参考】[災害時に水を配る場所~災害時給水ステーション~（東京都水道局HP）](#)
[災害時給水ステーション（東京都水道局アプリ）](#)
- 発災時における応急給水の円滑な実施を目的として、効果的な広報活動を実施することで災害時給水ステーション（給水拠点）の認知度向上を図りたい

背景

- これまで、災害時給水ステーション（給水拠点）については東京都水道局のホームページや東京都水道局アプリ等で周知しているものの、「令和6年度東京の水道に関するお客さま意識調査」において、認知度は約55%、最寄りの災害時給水ステーションの場所を知っている人は約15%に留まっており、ここ数年横ばいである。また、特に若年世代の認知度が低い
- 東京都水道局のホームページに災害時給水ステーションのマップを掲載しているほか、東京都水道局アプリでは、位置情報から最寄りの災害時給水ステーションが把握できるようになっている。また、広報動画を制作し、都公式YouTubeや都公式LINE等を通じて展開を行っている

現場からのコメント



- 既存方法以外での情報発信や効果的なデジタルツール・技術の活用、既存媒体による情報発信のブラッシュアップなど幅広く検討していきたいです。

現場情報

※現場への直接のご連絡は行わないでください

水道局サービス推進部管理課

営業事務に関する企画及び調査、
応急給水の調整等を行っている